

第 42 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会

寄付金趣意書

第42回日本遺伝カウンセリング学会学術集会

大会長 川目 裕

(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野 教授)

ご挨拶

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第42回日本遺伝カウンセリング学会学術集会を2018年6月 28日（木）、29日（金）、30日（土）、7月1日（日）に江陽グランドホテル（仙台市）で開催いたします。

今回の学術集会のテーマは、「ゲノム医療を支える遺伝カウンセリング：ナラティブとエビデンスの調和」としました。

近年、遺伝情報を利用した医療・保健が実際の臨床の場面でも次々と導入されています。研究の枠組みではありますが、母体血胎児染色体検査（NIPT）、未診断疾患イニシアチブ（IRUD）、がんのパネル検査などの網羅的なゲノム解析が臨床で展開されています。これら次世代のゲノム医療において、遺伝カウンセリングの重要性は、益々、高まっています。

遺伝カウンセリングとは、個々のクライアントに合わせた情報提供と心理社会的援助がカップリングされた、大変にユニークな医療サービスです。遺伝カウンセリングは、“Why did this happen?”（どうして？）に対応することといわれます。この質問は、多くの場合、文字通りの説明を求められているだけでなく、実存的な不安の現われであり、対応には質問の後ろにあるかも知れない背景や物語への理解や共感が必要となります。

日進月歩で変化してゆくゲノム医療を支える遺伝カウンセリングについて、ナラティブとエビデンスの側面から、また、遺伝カウンセリングの臨床、研究、人材育成、制度など多様な側面から学び議論できる学術集会を目指します。

本学会の開催にあたり、参加者を約1,000名と見込んでおります。学会の諸経費は会員の参加費をもって賄うべきであり、節約を旨として学会運営を行う所存ですが、昨今の諸費用高騰のため、充実した学会運営を図るには各方面からのご支援を賜らずしては困難といわざるをえません。つきましては、誠に恐縮でございますが、本会の趣旨をご理解いただきまして、ご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、拠出いただきました協賛金については、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共催企業様と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて了承いたします。

末筆ながら、皆様のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

2017年12月吉日

第42回日本遺伝カウンセリング学会学術集会
大会長 川目 裕

開催概要

1. 会議名称：第42回日本遺伝カウンセリング学会学術集会
2. 大会長：川目 裕
東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野 教授

副大会長：呉 繁夫
東北大学大学院医学系研究科
小児病態学分野 教授

青木 洋子
東北大学大学院医学系研究科
遺伝医療学分野 教授
3. 会 期：2018年6月28日（木）・29日（金）・30日（土）・7月1日（日）
（初日は委員会等）
4. 会 場：江陽グランドホテル
〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-3-1
5. テー マ：ゲノム医療を支える遺伝カウンセリング ナラティブとエビデンスの調和
6. 参加者数：約1,000名（医療関係者）
7. プログラム概要（予定）
大会長講演、特別講演、招待講演、教育講演、シンポジウム、
遺伝カウンセリング・ジレンマセッション、
一般演題（学術集会奨励賞候補口演・一般口演・ポスター）、
ランチョンセミナー等
8. メインテーマ ゲノム医療を支える遺伝カウンセリング ナラティブとエビデンスの調和
9. 事務局 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野
〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1
TEL：022-274-5998
10. 運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社 東北支社
〒980-0011 宮城県仙台市支倉町4-34 丸金ビル6階
TEL：022-722-1311 FAX：022-722-1178
E-mail：jsgc2018@convention.co.jp

11.収支予算案

収入の部

【単位:円】

勘定科目	積算根拠	金額
I. 学術総会参加費収入		
①一般	10,000 × 850 名	8,500,000
②学生	5,000 × 150 名	750,000
II. 助成金	1,000,000 × 1 式	1,000,000
III. 懇親会参加費収入	3,000 × 150 名	450,000
IV. 抄録集販売収入	× 冊	0
V. 共催セミナー収入		
①ランチョンセミナー(大)	540,000 × 2 社	1,080,000
②ランチョンセミナー(小)	432,000 × 2 社	864,000
VI. 展示会出展料収入	162,000 × 5 小間	810,000
VII. 書籍展示料収入	10,800 × 5 小間	54,000
VIII. 広告掲載料収入		
①抄録集広告(表4)	162,000 × 1 社	162,000
②抄録集広告(表2)	129,600 × 1 社	129,600
③抄録集広告(表3)	108,000 × 1 社	108,000
④抄録集広告(後付1頁)	86,400 × 5 社	432,000
⑤抄録集広告(後付1/2頁)	54,000 × 5 社	270,000
X. 寄付金		1,000,000
	合計	15,609,600

支出の部

【単位:円】

勘定科目	金額
I 事前準備費	
(1)事務局業務費	2,762,424
(2)旅費・交通費	100,000
(3)制作費	294,238
(4)通信費	100,000
(4)会議費	100,000
II 当日運営費	
(1)人件費	1,756,458
(2)会場費	4,900,000
(3)機材・備品費	2,374,123
(4)看板装飾費	647,460
(5)展示関係費	637,005
(6)招請関係費	603,425
(7)会合関係費	1,258,200
(8)諸雑費	50,000
III 予備費	26,267
	合計
	15,609,600

寄付金募集要項

1. 寄付金の名称 第42回日本遺伝カウンセリング学会学術集会
2. 寄付金目標額 1,000,000円
3. 募集期間 2017年12月1日から2018年6月27日まで
4. 寄付金の使途 第42回日本遺伝カウンセリング学会学術集会の事前準備および当日運営経費
5. 寄付金責任者 第42回日本遺伝カウンセリング学会学術集会
大会長 川目 裕
(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野 教授)

6. 寄付を必要とする理由

本会議は参加者約1,000名が予定され、会議の準備・運営に要する経費としては、総額15,609,600円が必要と推算されますが、参加費、展示・広告料等の自己負担金等を合わせても14,609,600円になり、1,000,000円の不足が予想されます。可能な限り諸経費を節減する所存ではございますが、運営経費の不足は覆うべくもなく、諸団体および諸企業からの寄付を仰がざるを得ないのが実情でございます。つきましては、以上述べました本会開催の趣旨を充分にご理解いただき、何卒貴社・記団体のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。諸費用御多端の折、誠に恐縮に存じますが、重ねて皆様のご支援・ご協力の程お願い申し上げます。

7. 寄付金の申込・問合せ先

寄付金申込書に所定事項をご記入、申込みの上、下記8の口座にお振込みください。

寄付金の申込み・お問合せ先：

日本コンベンションサービス株式会社 東北支社
〒980-0011 宮城県仙台市支倉町4-34 丸金ビル6階
TEL：022-722-1311 FAX：022-722-1178
E-mail：jsgc2018@convention.co.jp

8. 寄付金払込方法 下記の口座にお振り込みください。

銀行：ゆうちょ銀行 東北大学病院内支店
店番：818
預金種目：普通口座
口座番号：3890883
口座名義：第42回日本遺伝カウンセリング学会事務局
口座名義フリガナ：ダイジョウユウカイニホウテンカウンスリングガクカイウエイジムキョク

9. 税法上の取扱い 寄付金に対する免税処置はございません。

寄付申込書

第 42 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会 御中

FAX : 022-722-1178

年 月 日

第 42 回日本遺伝カウンセリング学会学術集会の事業に賛同し、
下記金額を寄付金として申し込みます。

金 円也

御芳名又は法人名 _____ (捺印)

〒

御 住 所 _____

御 担 当 者 _____

TEL : _____

FAX : _____

E-mail : _____

振 込 予 定 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日